



フクジュソウ

なかごころ (那珂心)



福岡市立那珂小学校
校長 池田 彰治



明けまして おめでとうございます



本年も、本校教育へのご理解とご協力を、
よろしくお願いたします

令和3年を迎えました。元日の朝、起きると「よし、今年は・・・!」と、生まれ変わったような気持ちになります。しかし、今回は、感染症拡大のため、いつもとは違った心持ちの年末年始だったのではないのでしょうか。心底から晴れ晴れとできない、そのような気持ちの中ですが、那珂っ子が元気に学校へもどってきて、大変嬉しく思います。

次の学年への橋渡しとなる後期後半は、実際に登校するのは50日ほどです。その短い間に、一人一人が卒業、進級を見据えて、頭と心と体の支度(したく)ができるよう、職員一同、きめ細かな指導と支援を行っていきつもりです。感染症対応は、今後も続けていかざるを得ません。それも含め、今後も保護者の皆様へお願いすることが多々ありますが、どうぞよろしくお願いいたします。

本年度の卒業証書授与式について

福岡市教育委員会からの通知に基づき、以下の要領で実施します。詳細につきましては、6年保護者の皆様へ、後日ご案内の文書をお配りいたします。

- 期日：令和3年3月17日(水)9時30分開式 ※1～5年生は休みです。
- 例年よりも時間を短縮して、60分間で実施
- 出席者の検温確認・マスク着用・消毒、座席間隔の確保、式場の常時換気等、感染症対策の徹底

※ 保護者の出席は、原則同居者とし、2名以内でお願いいたします。

5年『GoTo竹下商店街』贈呈式 ～ 地域から受け、地域へ返す ～

地域の中の学校として、子どもたちが那珂校区の様々な「人、もの、こと」と出会い、そこから学ぶ取組を各学年で行っています。本年度は、感染症対応として、縮小したり中止したりしていますが、地域は「生きた教材」とも言えます。子どもたちは、それらの学習の中で、地域から貴重な教を『受ける』わけです。

しかし、その一方通行ではなく、子どもたちが地域の一員として貢献する、地域へ『返す』こと、つまり、『受ける⇔返す』という双方向が、両者にとって大きな意味と価値があると考えています。

その双方向の取組の一つが、数年来、5年生が総合的な学習の時間で行っている竹下商店街活性化に参画するプロジェクトです。古くから那珂校区にある商店街の歴史や人々の思いについての話を聞いたり調べたりして学び(受ける)、自分が貢献できることは何かという課題意識をもって、それを解決する活動に積極的に取り組んでいく(返す)というものです。

今回、『GoTo竹下商店街』と題し、竹下駅などにはるポスター、各店舗に掲げてもらうカレンダー・千羽鶴、お客さんに渡すメッセージカード、ガラポン抽選の景品などを作って活用していただくことを『返す』活動としました。そして、昨年12月10日(木)に商店街の副理事長様をお招きし、それらの贈呈式を行いました。代表の子どもたちがそれぞれの品に込めた思いを話し、お渡ししました。副理事長様からは、感謝の言葉をいただくとともに、この学習の素晴らしさを価値づけていただきました。

3～6年で行う総合的な学習の時間の目標の一つに「自己の生き方を考え、積極的に社会に参画しようとする態度を養う」とあります。この学習は、この町に暮らす那珂っ子一人一人が、那珂の中でどう生きるかを探る貴重なものになっています。



【みんなで心を込めて作りました】

